

令和 8 年 2 月 1 8 日

福島大学環境放射能研究所 第 12 回成果報告会 開催のお知らせ

本学環境放射能研究所は、研究成果を学外（地域の方や放射能研究の専門家等）へ向けて報告する「成果報告会」を毎年行っています。この度、2026 年 3 月 11 日（水）に第 12 回目となる成果報告会を開催することになりました。

本会では、「福島の声：自然と人の 15 年」をテーマに、市民の方々を対象としたシンポジウムを実施いたします。

研究成果をわかりやすくお伝えするとともに、参加者との意見交換を通して研究成果が地域に還元される事を目指しています。

- 日 時：2026 年 3 月 11 日（水）13：00～16：30（市民向けシンポジウム）
- 場 所：コラッセふくしま 4 階多目的ホール
（福島県福島市三河南町 1 番 20 号）
オンライン同時配信予定
- 発表者：環境放射能研究所 所属研究者
共生システム理工学類 所属研究者
食農学類 所属研究者
フランス国立科学研究センター/MITATE Lab. 所属研究者
- 申 込：参加費無料・事前登録制
特設サイト (<https://www.ier.fukushima-u.ac.jp/aprm>) より
参加登録ください。



←特設サイトに
リンクします

事前参加登録締切は 3 月 4 日（水）とさせていただきます。
インターネット環境がない方は、3 月 4 日（水）までに電話・FAX にて下記お問い合わせ先までご連絡ください。

※事前の周知と当日のご取材よろしくお願ひします。

取材をご希望の方は、3 月 5 日（木）までに下記お問合せ先までご連絡
ください。

（お問い合わせ先）
福島大学環境放射能研究所 事務室
電話：024-504-2721
FAX：024-503-2921
E-mail：ier@adb.fukushima-u.ac.jp

福島の声：自然と人の15年

Fukushima Voices: 15 Years of Nature and Humanity

開催日時 2026年3月11日(水) 13:00~16:30

会場 コラッセふくしま 4F 多目的ホール オンライン同時配信

対象者 一般市民、行政、研究機関等関係者

参加無料

オンライン参加可
要事前登録

市民向けシンポジウム登壇者



「都市計画から見た福島原発事故による復興政策の課題」

浅沼=ブリス・セシル ASANUMA-BRICE Cécile
フランス国立科学研究センター 教授/MITATE Lab.所長



「福島原発事故が被災地住民に与えた心理的影響はいまも続いている」

筒井 雄二 TSUTSUI Yuji
福島大学 共生システム理工学類 教授/
福島大学 災害心理研究所 所長



「浜通りにおけるこれからの野生動物問題について」

望月 翔太 MOCHIZUKI Shota
福島大学 食農学類 准教授



「『福島の海』の声を聴く
—あたたかくなる海と魚の変化—」

和田 敏裕 WADA Toshihiro
福島大学 環境放射能研究所 教授



「豪雨にともなう河川からの¹³⁷Cs流出と沿岸海域への影響」

脇山 義史 WAKIYAMA Yoshifumi
福島大学 環境放射能研究所 准教授



「原発事故後の環境を理解する
—人の声と地の声をつなぐ—」

難波 謙二 NANBA Kenji
福島大学 環境放射能研究所 所長/
福島大学 共生システム理工学類 教授



福島の声： 自然と人の15年

Fukushima Voices: 15 Years of
Nature and Humanity

福島大学環境放射能研究所は、東京電力福島第一原子力発電所事故（2011年）により影響を受けた福島の中放射能に関する研究を推進するため、2013年に設立されました。

当研究所では、これまでの研究で明らかになった知見を共有し、福島の将来像を考える機会とするとともに、今後の研究発展につなげることを目的として、成果報告会を毎年開催しています。

今回の市民向けシンポジウムでは、「福島の声：自然と人の15年」と題し、開催日時点で事故発生から15年を迎える福島の市民社会や自然環境の現状について、研究成果をわかりやすくお伝えします。

併せて、参加者との意見交換を通じて地域の皆さまの声に耳を傾け、福島にとって有益な成果を生み出す研究の創出につなげることを目指します。

3/10 火

特別講演ほか

成果報告会と一部並行して放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点(ERAN) 年次報告会を開催(フラッシュトークおよびポスター発表含む)

4F:多目的ホール、5F:研修室、小研修室(予定) 9:10-17:10

対象:専門家 ※どなたでも参加可 言語:日本語または英語(プログラムまたは発表者による。)

3/11 水

専門家向けポスター発表

4F:会議室401、5F:小研修室(予定) 10:00-12:00 対象:専門家 ※どなたでも参加可 言語:英語

3/11 水

市民向けシンポジウム

言語:日本語または英語 同時通訳あり

時間	内容	登壇者	所属・役職
13:00 - 13:05	開会挨拶 Opening Remarks	三浦 浩喜 MIURA Hiroki	福島大学学長 President, Fukushima University
13:05 - 13:10	趣旨説明 Overview	難波 謙二 NANBA Kenji	福島大学 環境放射能研究所 所長/ 福島大学 共生システム理工学類 教授 Director, IER/ Professor, Faculty of Symbiotic Systems Science
13:10 - 13:35	「都市計画から見た福島原発事故による復興政策の課題」	浅沼 = ブリス・セシル ASANUMA-BRICE Cécile	フランス国立科学研究センター 教授/ MITATE Lab. 所長 CNRS Researcher / Mitate Lab. Director
13:35 - 14:00	「福島原発事故が被災地住民に与えた心理的影響はいまも続いている」	筒井 雄二 TSUTSUI Yuji	福島大学 共生システム理工学類 教授/ 福島大学 災害心理研究所 所長 Professor, Faculty of Symbiotic Systems Science / Director, The Center for Psychological Studies of Disaster
14:00 - 14:10	休憩 Break		
14:10 - 14:35	「浜通りにおけるこれからの野生動物問題について」	望月 翔太 MOCHIZUKI Shota	福島大学 食農学類 准教授 Associate Professor, Faculty of Food and Agricultural Sciences
14:35 - 15:00	「『福島の海』の声を聴く — あたたかくなる海と魚の変化 —」	和田 敏裕 WADA Toshihiro	福島大学 環境放射能研究所 教授 Professor, IER
15:00 - 15:10	休憩 Break		
15:10 - 15:35	「豪雨にともなう河川からの ¹³⁷ Cs流出と沿岸海域への影響」	脇山 義史 WAKIYAMA Yoshifumi	福島大学 環境放射能研究所 准教授 Associate Professor, IER
15:35 - 16:00	「原発事故後の環境を理解する - 人の声と地の声をつなぐ」	難波 謙二 NANBA Kenji	福島大学 環境放射能研究所 所長/ 福島大学 共生システム理工学類 教授 Director, IER / Professor, Faculty of Symbiotic Systems Science
16:00 - 16:25	総合討論 Discussion		
16:25 - 16:30	閉会挨拶 Closing Remarks	ヴァシル・ヨシェンコ Vasyl YOSCHENKO	福島大学 環境放射能研究所 副所長/教授 Vice Director/Professor, IER

事前参加登録は
特設ページからお願いします。

IER 成果報告会 検索

<https://www.ier.fukushima-u.ac.jp/aprm>



インターネット環境がない方は
TELまたはFAXで
右記についてお知らせください。

- ・氏名(フリガナ) ・所属先またはお住まいの市町村
- ・電話番号 ・参加方法:現地参加またはオンライン

提供いただいた個人情報は、国立大学法人福島大学個人情報保護規制に従い、適切に管理・利用いたします。

お問い合わせ

福島大学 環境放射能研究所
TEL 024-504-2114 FAX 024-503-2921
E-mail ier@adb.fukushima-u.ac.jp



会場

コラッセふくしま
4階多目的ホール
福島県福島市三河南町1番20号
(福島駅西口 徒歩3分)

